

# 平成 29 年度社会福祉法人ぐりーんろーど事業報告

## 概況

- (1) 平成 30 年 1 月、利用者の障害の重度化、高齢化などの状況を踏まえ、ハートランドが就労継続支援 B 型から生活介護施設へ移行した。

ぐりーんろーどが社会福祉法人となったのは平成 16 年である。この間、就労支援 3 事業所、共同生活援助 1 事業所の体制がつづいてきたと言えることから、今回の移行は特筆すべきと言って良く、利用者のニーズ、地域社会のニーズに沿った事業創出が今後とも期待される。

- (2) 一方、神奈川区羽沢地区に就労継続支援 B 型（定員 24 名）、共同生活援助（入所定員 2 ユニット 10 名）の新規事業所開設を計画したが、利用者や職員確保、予算収支の見通しなどを踏まえ、とりやめざるを得なかった。監事の意見が有効に機能したとも言えるが、法人業務の意思決定における関係者の合意形成やその前提となる事業計画、収支予算（5 年程度をシミュレーション）に十分な時間をとることを今後の課題とした。

- (3) 社会福祉法人制度改革初年度の取り組みでは、変更定款（平成 29 年 4 月 1 日施行）に沿って、定時評議員会の開催、理事・監事の選任、評議員・役員報酬規程の制定などを行い、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性向上など、改革の趣旨を徹底した。

具体的には評議員会、理事会の新体制のもと、評議員会 2 回、理事会 6 回を開催、評議員会は改正法のもとで決議機関となり、理事会は法人経営、支援内容、経理関係、職員体制などを議論して各々その役割を果たしてきている。

利用者は年々高齢化し、グループホームにおいても利用者の病気の長期化、徘徊への対応、後見人の選任などを進めている。

職員体制で今年度は 20 代の新採用が 3 名あり、希望の持てる内容となっている。

法人内部の体制では管理者会議、グループホームの常勤職員会議、法人本部事務局会議を毎月行い、経営方針の討議、支援の特徴の報告、職場体制及び職場状況の報告、会計・労務関係の話し合いを行い、着実に取り組んでいる。

地域団体、行政機関などとも常に連携するようになり、法人の発展に向け努力してきている。

## 1 指定障害福祉サービス事業所の着実な運営

### ・就労継続支援 B 型

ハートランド（定員 20 名）

平成 30 年 1 月に生活介護事業所に移行した。

ネバーランド（定員 20 名）

トロワランド（定員 20 名）

いずれも平成 30 年 1 月に指定更新を行った。

・ 共同生活援助

れいんぼう（定員 34 名 5 共同生活住居）

## 2 人材の確保と養成

- ・ 事業所指定の人員基準を踏まえた職種の計画的養成  
サービス管理者責任者研修
- ・ 福祉のしごとフェア 8 月 4 日、11 月 7 日

## 3 法人・事業所の運営体制確保

### (1) 参加型運営体制の確立

- ・ 人事委員会、経営委員会、経理委員会の設置（平成 29 年 9 月）  
理事、職員、外部専門家で構成した。
- ・ 事業所管理者会議を毎月開催した。

### (2) 会計指導業務委託

福祉・医療コンシェルジュ株式会社

### (3) 行政の実施指導など

- ・ 平成 29 年度指定障害福祉サービス事業者実施指導  
（対象事業 共同生活援助）平成 29 年 9 月 14 日
- ・ 平成 29 年度社会福祉法人指導監査 平成 30 年 1 月 17 日

### (4) ホームページの更新

### (5) 関連事業（会議）への参加

- ・ 市主催の社会福祉法人説明会、指定障害福祉サービス事業者等説明会などに参加した。

## 4 機関会議の開催（議題は主なもの）

### (1) 評議員会 定数 7 名

ア 定時評議員会 6 月 17 日（日）

- ・ 平成 28 年度事業報告について
- ・ 新拠点事業について
- ・ 平成 28 年度決算報告及び監査報告について
- ・ 理事・監事の選任について
- ・ 評議員・役員報酬規程について

イ 臨時評議員会 平成 30 年 3 月 10 日（土）

- ・役員報酬規程の改正について
- ・平成 30 年度事業計画（案）について
- ・平成 30 年度予算（案）について

(2) **理事会** 定数 6 名

ア 5 月 26 日（金）

- ・平成 28 年度事業報告について
- ・平成 28 年度決算報告案について
- ・理事・監事の選任案について
- ・新設事業所の対応について
- ・評議員会の開催について

イ 6 月 23 日（金）

- ・理事長及び業務執行理事の選定について

ウ 9 月 8 日（金）

- ・理事業務内容について
- ・生活介護事業所運営規程について
- ・経営体制の確立について
- ・三役体制の確認について

エ 11 月 30 日（木）

- ・市指定障害福祉サービス事業者の実施指導について
- ・上半期決算報告について
- ・平成 30 年事業計画、予算編成方針について

オ 平成 30 年 2 月 28 日（水）

- ・就労支援事業所指定更新について
- ・市法人指導監査について
- ・平成 30 年度事業計画（案）について
- ・平成 30 年度予算（案）について
- ・役員等報酬規程の改正について

カ 平成 30 年 3 月 10 日（土）

- ・平成 30 年度事業計画及び予算について

(3) **監事監査** 定数 2 名

5 月 15 日（月）

- ・平成 28 年度事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書について

## 平成29年度 就労継続支援事業・生活介護事業全体報告

- 1 名称：障害福祉サービス事業所 ネバーランド（就労継続支援B型）  
障害福祉サービス事業所 トロワランド（就労継続支援B型）  
障害福祉サービス事業所 ハートランド（就労継続支援B型、  
30年1月より生活介護）

営業日：月曜日から金曜日まで

（土曜・日曜・祝祭日で地域行事等と利用者希望の余暇支援活動がある場合のみ）

営業時間：9時30分から15時30分まで

年間の休日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末・年始、夏季休業

（土曜・日曜・祝祭日で地域行事等と利用者希望の余暇支援活動がある場合以外）

年間開所日数：239日～253日（土曜開所日の日数による）

主たる対象者：知的障害者

## 2 報告事項

（1）1年を振り返って

- ① ハートランドが生活介護事業に移行した。（平成30年1月）
- ② ネバーランドとトロワランドが事業所指定更新を行った。（平成30年1月）
- ③ 常勤職員の採用（4名）を行い、職員体制の充実を図った。
- ④ ネバーランド移転のため、情報収集を行った。

（2）行事・バザー関連（次ページ参照）

行事・バザー関連

月	日数※	共通行事	H (ハートランド)	N (ネバーランド)	T (トロワランド)
4月	20	お花見		バスハイク	消防フェア
5月	20	馬車道祭り		サーカス鑑賞	リワークまつり
6月	22	洲崎まつり ふくしまつり	一泊研修旅行	スポーツセンターバザー	区民day
7月	20	健康診断・賞与支払い	ヨッテクランド		
8月	19	納涼祭・夏季休暇 (HN)	ふれあい作品展・高島屋販売	心愛の里納涼祭	ふれあい作品展・高島屋販売
9月	20	健康診断	有隣堂バザー	避難訓練(防災センター)	きょうされん支部まつり・ノウフクマルシェ
10月	21	区民祭・神大寺地区センターまつり・羽沢まつり・松本中学校文化祭		スポーツセンターバザー	
11月	20	馬車道祭り・沢渡ケアプラ祭り・みどり祭		地域感謝祭	一泊研修旅行
12月	20	未来を考える集い・合同忘年会・賞与支払い・年末年始休暇	クリスマス散策		クリスマス会
1月	19	新春の集い			
2月	19		有隣堂バザー		
3月	19	食事会・健康診断		避難訓練(三ツ沢ビル合同)	三ツ沢公園感謝day
その他			防災訓練(年2回) 希望に応じたレクや外出(適宜)	ボーナスレクリエーション(個別実施)	防災訓練(月1回)、 休日開所(適宜) ハートフルカフェ (年4回)

※年間開所日数239日(各事業所に応じて土曜・休日開所があります。)

## 平成29年度ハートランド事業報告

### I 事業概要

事業所名：生活介護 ハートランド

所在地：横浜市神奈川区三ツ沢中町9-3 川戸ビル1F

定員：20名 現員21名（男性16名、女性5名）

職員配置：常勤職員4名 有期契約職員2名 嘱託職員1名

（平成30年3月末時点）

（内訳：管理者・サービス管理責任者1名、生活支援員5名、看護師1名）

### II 事業関係

#### 1 利用実績（開所日数239日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	20日	20日	22日	20日	19日	20日
1日平均	17.8名	17.7名	17.3名	18.7名	19.3名	19.9名
利用人数	355名	353名	381名	373名	367名	397名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21日	20日	20日	19日	19日	19日
1日平均	18.7名	19.3名	19.4名	18名	18.1名	20.7名
利用人数	393名	386名	387名	342名	343名	393名

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

1日平均利用者数：18.7名（18.3名） \*（ ）は平成28年度

#### 2 土曜開所日及び行事内容

7月1回 横浜ズーラシア動物園散策（利用者4名）

#### 3 工賃支給額

	4月	5月	6月	7月
支給対象者	19名	19名	19名	20名
支給総額	50,140円	51,150円	49,720円	200,280円
	8月	9月	10月	11月
支給対象者	21名	21名	21名	21名
支給総額	51,720円	50,370円	49,540円	52,880円
	12月	1月	2月	3月
支給対象者	22名	22名	21名	22名
支給総額	307,810円	37,890円	48,630円	243,070円



## 平成29年度ネバーランド事業報告

### I 事業概要

事業所名：就労支援継続B型 ネバーランド

所在地：横浜市神奈川区三ツ沢下町10-14 三ツ澤ビル3A.4A

定員：20名 現員：20名（男性14名、女性6名）

職員配置：常勤職員3名 有期契約職員4名（平成30年3月末時点）

（内訳：管理者・サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員4名、  
目標工賃達成指導員1名）

### II 事業関係

#### 1 利用実績（開所日数 245日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	20日	20日	23日	20日	20日	20日
1日平均	17名	17.9名	17.9名	18.2名	16.8名	17.9名.
利用人数	340名	358名	411名	363名	336名	357名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	22日	22日	20日	18日	19日	21日
1日平均	15.9名	16.5名	17.3名	17名	17.3名	17.4名
利用人数	349名	362名	346名	306名	328名	366名

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

年間開所延べ日数：245日（244日）

1日平均利用者数：17.3名（17.5名） \*（ ）は平28年度

#### 2 土曜開所日及び行事内容

	内 容	利用者		内 容	利用者
4月	バスハイク	13名	10月	スポーツセンター	16名
5月			11月	地域感謝祭	13名
6月	洲崎祭礼	14名	12月		
7月			1月		
8月	納涼祭（2ヶ所）	11名	2月		
9月			3月		

延べ参加者数： 67名



### 3 工賃支給額

	4月	5月	6月	7月
支給対象者	20名	20名	20名	20名
支給総額	81,150円	81,650円	92,450円	145,550円
	8月	9月	10月	11月
支給対象者	20名	20名	19名	20名
支給総額	92,100円	83,350円	83,320円	94,750円
	12月	1月	2月	3月
支給対象者	20名	20名	20名	20名
支給総額	195,850円	67,150円	79,800円	80,450円

月額平均工賃： 4,972円（4,896円）\*（ ）は平成28年度

### 4 作業内容

- ① 受注作業：実施なし
- ② 自主製品：パンの製造、加工、クッキー・マドレーヌ等の菓子製造、ハンバーグ等の調理、バッグ等の裁縫
- ③ 販売活動：沢渡地域ケアプラザ、特別養護老人ホーム心愛の里、(株)通信設備エンジニアリング、三ツ沢地区児童育成クラブ、佛立生活文化研究所、地域活動支援センターせせらぎ、医療法人財団コンフォート、(株)レックスでのパン・製菓の定期販売、神奈川区役所、反町ふれあいサロンでの販売。
- ④ 作業所外活動：区内の企業、寺院等での古紙回収を定期的実施。

### 5 利用者関係

昼食時に利用者希望が多かった汁物、月一回の食事作りを自己負担により提供した。  
利用者本人、家族の体調不良による欠席が多く、予定利用日数が大幅に減少した。

### 6 職員関係

採用：3月22日より有期契約職員 男性1名を試採用。

退職：6月末日にて有期契約職員 女性1名

異動：トロワランドより有期契約職員 女性1名

ハートランドより常勤職員 女性1名

事務所へ常勤職員 男性1名

### Ⅲ 29年度事業計画をふりかえって

#### 1 利用者への支援

- ① 利用者の希望に添った余暇を実施できた。宿泊行事については、関東圏外への希望が多く、準備を含め次年度に実施することとした。
- ② スポーツセンターで販売後に卓球等の体を動かす機会を設けた。
- ③ ご家族参加型行事の実施を継続し、利用者支援へ活かす様実施した。
- ④ 強度行動障害、サービス管理責任者研修を受講した。

#### 2 工賃向上へのとりくみ

- ① 事業所のホームページを8割程完成出来た。次年度以降も継続して作成の検討課題とした。情報発信として、自主製品の広告のためチラシのポスティングを近隣地区に行った。
- ② 新規ボランティアの確保を行なったが、長期間継続されるまでは至らなかった。健康面に関しての緊急対応等への課題が残った。
- ③ 製菓、パン以外の地産地消製品に関しては、新たに営業許可を取得することとなるため、不可と判断した。

#### 3 危機管理と環境整備

- ① 災害対策計画として、劣化した梯子を新規の物を取り付けてもらった。避難機器の確保とし、防災用の倉庫を設けた。
- ② 防災センターを活用し、知識・経験となるよう避難訓練を実施し、自治会を通じて三ッ沢ビルの合同訓練を実施した。
- ③ 食品微生物センターや衛生協会と連携、指導に基づき営業許可証の更新を行った。

#### 4 地域交流

- ① 企業のCSR活動に賛同し、ペットボトルキャップの収集を複数個所で行ない、社会貢献活動の一端となるよう、年間5回おさめた。
- ② 神奈川区のスポーツセンターとの自主製品の販売を通し、年12回の販売活動などの交流を計った。
- ③ 会貢献の一端となる様、区内の中学校や高校の職業体験、福祉専門学校の実習を受け入れた。

#### 5 その他

- ① 事業内容の構造の見直しを継続して取り組む中で、保護者会への情報収集依頼、近隣地区の不動産会社への訪問を行った。

## 平成29年度トロワランド事業報告

### I 事業概要

事業所名：就労継続支援B型 トロワランド

所在地：横浜市神奈川区三ツ沢上町5-7 ウェストモニターニュ三ツ沢1F

定員：20名 現員20名（内訳：男性15名、女性5名）

職員配置：常勤職員4名 有期契約職員2名（平成30年3月末時点）

（内訳：管理者・サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員3名、目標工賃達成指導員1名）

### II 事業関係

#### 1 利用実績（開所日数：253日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	20日	21日	24日	21日	23日	21日
1日平均	15.3名	15.7名	15.2名	15.2名	13.5名	15.6名
利用人数	306名	330名	365名	320名	312名	327名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	23日	20日	20日	19日	19日	22日
1日平均	14.8名	15.0名	15.5名	15.3名	14.9名	15.3名
利用人数	340名	299名	310名	291名	283名	337名

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

年間開所延べ日数：253日（248日）

1日平均利用者数：15.1名（15.6名） \*括弧内は平成28年度

#### 2 土曜開所日及び行事内容

	内 容	利用者		内 容	利用者
4月			10月	区民祭 神大寺地区センター祭	9名 8名
5月			11月		
6月	洲崎祭礼参加	15名	12月		
7月	たんまち納涼祭	8名	1月		
8月	納涼祭参加	5名	2月		
9月	きょうされん支部まつり	6名	3月	三ツ沢公園感謝day	8名

延べ参加者数：59名

### 3 工賃支給額

	4月	5月	6月	7月
支給対象者	19名	19名	18名	18名
支給総額	88,170円	96,870円	282,490円	96,010円
	8月	9月	10月	11月
支給対象者	18名	18名	18名	18名
支給総額	95,890円	96,410円	104,230円	91,020円
	12月	1月	2月	3月
支給対象者	18名	18名	18名	18名
支給総額	380,990円	86,940円	84,880円	211,620円

月額平均工賃：7,869円（7,615円）\*括弧内は平成28年度

### 4 作業内容

- ① 受注作業：ペン、電子部品の組立、DM封入、他
- ② 自主製品：乾燥野菜、ジャム、アクリルたわし、アイロンビーズ製品、絞り染め製品、ニット製品、犬用ジャーキー
- ③ 販売活動：野菜販売、きょうされんカタログ販売、ラムネ販売、神奈川区役所、ふれあいサロン、ともしびショップ、トロワ前ワゴン
- ④ 委託作業：神奈川区役所花壇整備

### 5 利用者関係

利用者異動なし

### 6 職員関係

- 採用 常勤職員男性1名 平成29年5月  
常勤職員女性1名 平成30年1月（非常勤採用H29年7月）
- 退職 非常勤職員女性1名 平成29年6月
- 異動 非常勤職員女性1名 平成29年5月（T→N）

### Ⅲ 29年度事業計画をふりかえって

#### 1 利用者への支援

- ① 新規常勤職員2名（社会福祉士1名、認定心理士1名）を雇用。より専門性の高い支援体制となった。
- ② 研修旅行にて茨城県の事業所を訪問、見学をさせて頂き交流をした。
- ③ 8月に夏季休暇を設けず営業した。

#### 2 工賃向上へのとりくみ

- ① 新規食品封入・ラベル作成の受注先を開拓。
- ② 犬用ジャーキーの製造、販売を開始。
- ③ 洗剤の仕入れ販売を開始。

#### 3 危機管理と環境設備

- ① 災害備蓄品の強化。現実起きたことを想定した避難訓練や行動マニュアル作りに着手。
- ② 引き続き第二作業所を検討。住所地が同じマンションを借りるため交渉中。

#### 4 地域交流

- ① 横浜市障害者施設地域活動支援事業助成金を受けハートフルカフェを4回開催。地域の方々へ障害の周知を行った。
- ② 地域のお祭り、防災訓練への参加、野菜販売をとおして地域の方々にトロワランドを知って頂けた。
- ③ 神奈川区内の他法人のお祭り等に積極的に参加。色々な事業所を知り、仲間たちと交流出来た。

## 平成 29 年度共同生活援助事業報告

### 全般報告

- 1 利用者一人ひとりの自立を目指した支援の利用者状況をアセスメントし、共通課題を協議した上、個別支援に沿って検討し実施した。

支援者の協力があり、5 ホームの入居者が一同に集う利用者懇談会、忘年会、合同餅つき大会が実施された。話し合いを大切にするホーム、互いに利用者と支援者が協力し合えるホームのとして培われた結果である。

スマイルの会を主体としたご家族の協力を得て、一泊旅行、食事会が実施された。また、地域交流として防災訓練や地域行事への参加の機会も増加傾向にある。

利用者自らの選択力、人を思いやり助け合う共助、支援を通して人間としての成長を図る機会を社会参加と捉え、それぞれのホームでの話し合いを大切にしたい外出支援が実施され、外食を楽しむ、カラオケを楽しむ、温泉入浴を楽しむなどが実施された。
- 2 利用者の加齢に伴う健康管理が年々重要な課題となっている。日中支援のあり方、かかりつけ医との連携の在り方、介護保険や医療保険との関係、食事療法のあり方、成年後見人の推進など専門家の助言を仰ぎつつ課題解決を図っている。

更に、検診を強化し早期発見、早期治療を実施した。
- 3 社会状況の変化に対応して、安心・安全な生活のできるホーム作りを目指して、社会保障制度の中でセーフティネットとしての役割を担うグループホームと位置づけ、情報の収集と発信にも努め、利用者も社会の変化を理解できるように支援を行った。
- 4 支援者（正規職員及び有期雇用職員）の職務内容が多様化、複合化している状況を改善するために、職務内容の見直しや業務従事時間の見直し検討を行った。
- 5 地域生活移行にともなう退所利用者 1 名、精神疾患の悪化による退所利用者 1 名により一時的に欠員が生じたが、早期に入所希望者 2 名の契約が決まり、安定した運営につとめた。

## 個別報告

### 1 利用者の状況

共同生活住居	定員	入所率（平均）
今人	6名	96%
銀河	6名	96%
第二銀河	6名	99%
れいんぼう	8名	100%
はっぴー	8名	86%

定員 34名（男性 26名 女性 8名）

#### 一般就労 9名

伊藤忠ユニダス（株）、（株）東急ウイル、（株）そごう・西武、ワタミフードサービス（株）、三洋装備（株）、京急サービス（株）、（株）金原、サンデリカ町田営業所、JUTEC 物流

#### 通所施設 25名

反町福祉活動ホーム、わかば工芸、金沢若草園、空とぶくじら社、ワークショップ夢21、地域活動委ホームゆめ、地域作業所みらい、ゆめづくり四番館、トレジャーボックス、ハートランド、ネバーランド、トロワランド

#### 高齢者施設利用 2名

お日様さんさん、ヒューマン

### 2 グループホーム全体活動報告

活動名	実施月	行先	参加者数
食事会	5月	ローズホテル	31名
一泊旅行	10月	茨城県大洗	32名
忘年会	12月	ローズホテル	32名
餅つき大会	1月	れいんぼう、はっぴー	33名
利用者懇談会	3月	れいんぼう	30名

\*参加者数には支援者及びボランティアは含まない

3 各ホーム利用者との話し合いを大切に、ホームの特徴を生かした外出行事

活動名	今人	銀河	第二銀河	れいん ぼう	はっぴ ー
ホーム内懇談会	○	○	○	○	○
誕生会・忘年会	○	○	○	○	○
ホーム内居酒屋		○	○		
外食を楽しむ	○	○	○	○	○
カラオケを楽しむ		○	○	○	○
日帰り温泉を楽しむ	○	○	○		
日帰り旅行を楽しむ	○	○	○	○	○
地域行事への参加	○	○	○	○	○

\* ホーム内居酒屋とはホーム内でアルコールを提供する食事会も含む

4 利用者の状況（主な疾病）

糖尿病	4	てんかん性精神病	1
アトピー性皮膚炎	4	狭心症	1
そけいヘルニア	2	弁膜症	1
アレルギー性鼻炎	7	知的遅滞反応性精神病	1
高脂血症	1	花粉症	1 4
腰痛	1	てんかん	5
白内障	3	緑内障	2
排泄機能	1 2	義歯装着	6
喘息	1	夜尿症	1
中心性しょう液性脈絡網膜症	1	網膜剥離	2
心筋梗塞	2	前立腺癌	1

5 入院を伴う疾病

精神疾病による入院 1名

心臓ペースメーカー手術による入院 1名

6 地域生活に移行

地域生活に移行した利用者 1名



## 特記事項

- ① かかりつけ医との連携を大切に、定期的な受診を眼科、歯科、呼吸器科、整形外科、精神科などを導入し、疾病の早期発見、早期治療、疾病予防につとめた。
- ②同時に、ホームの利用者の健康状態を支援者同士が共通に理解し合い連携の取れた支援を行うようにつとめた。
- ② 服薬管理を受ける利用者 32名（3月末日現在）

## 6 会議、研修関係

常勤職員会議	12回
合同職員会議	2回
ホーム支援会議	12回
職員研修	2回

## 7 職員体制

常勤職員 6名（内、3名は週30時間契約）  
管理者1名（兼務）  
サービス管理責任者2名（兼務）  
有期雇用職員 18名

## 8 その他

利用者の買い物支援（援助や助言を含む）、受診付添支援、一般就労先とのカンファレンス出席、通所施設とのカンファレンス出席、障害支援区分認定立ち合い、行政担当者出席によるカンファレンス出席  
高齢者施設利用契約の立ち合い

## 9 神奈川区自立支援協議会との連携